

- ・第2回 羽田空港における地盤改良に関する修補検討委員会
 - ・第2回 松山空港地盤改良修補有識者委員会
 - ・第2回 福岡空港における地盤改良に関する修補検討委員会
- 合同委員会を開催しました。

【合同委員会の議事要旨】

修補工法に係る候補の選定、現地地盤調査計画、現地施工の前に行う予備実験計画等について了承をいただいた。

主な議論は以下の通り。

- ① 予備実験の結果によっては、再度候補とする修補工法を検討し直すことも考えられる。
- ② 施工不良地盤の再現は難しいため、修補では薬液の浸透状況の施工管理が重要である。このため、予備実験においては、薬液の注入量、速度、圧力等の数値管理を工夫する必要がある。
- ③ 浸透固化処理工法においては、杭間法を基本と考えるが、杭芯法による地盤の割裂等も考慮して予備実験を行う必要がある。

【開催内容】

日 時 : 平成28年11月25日(金) 10:00-12:00
場 所 : 関東地方整備局 横浜第二合同庁舎 14階会議室
主 催 者 : 関東地方整備局、四国地方整備局、九州地方整備局



合同委員会の状況



委員長挨拶

【委員構成】

委員長（三局）	善	九州大学大学院 工学研究院 特任教授
委員（三局）	春日井	港空研 客員研究官
（四国）	小竹	香川高等専門学校 建設環境工学科 教授
（関東）	小濱	港空研 耐震構造研究グループ長
（関東）	佐々	港空研 動土質研究グループ長
（四国）	菅野	名古屋工業大学 高度防災工学センター 客員教授
（関東・九州）	坪川	国総研 空港施設研究室長
（関東・九州）	水谷	港空研 基礎工研究グループ長
（三局）	森川	港空研 地盤研究領域長
（四国）（欠席）	岡村	愛媛大学大学院 理工学研究科 生産環境工学専攻 教授
（九州）（欠席）	笠間	九州大学大学院 工学研究院 准教授
（関東）（欠席）	山崎	港空研 特別研究主幹
（九州）（欠席）	渡部	北海道大学大学院 工学研究院 教授

※（ ）は地方整備局名を、また三局は関東・四国・九州地方整備局を示す。

※国総研とは、国土技術政策総合研究所の略。

港空研とは、国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所の略。

※委員については、五十音順。

【開催状況】

- 第2回 羽田空港における地盤改良に関する修補検討委員会
- 第2回 松山空港地盤改良修補有識者委員会
- 第2回 福岡空港における地盤改良に関する修補検討委員会
合同委員会(平成28年11月25日開催)

[・議事要旨](#)

<配布資料>

- ・[議事次第](#)
- ・[資料－1 各空港における工法比較](#)
- ・[資料－2 現地地盤調査計画\(案\)](#)
- ・[資料－3 予備実験を実施する3工法の概要](#)

- 第1回 羽田空港における地盤改良に関する修補検討委員会
(平成28年9月29日開催)

[・開催報告](#)